

令和4年度試験研究の評価について（概要）

1 評価対象課題

- (1) 事前評価・・・次年度実施予定の新規課題
- (2) 中間評価・・・実施中の課題
- (3) 事後評価・・・前年度の終了課題

2 評価体制および評価機関

(1) 1次評価

各試験研究機関の研究課題について所管課が作成（部内評価）した中から、重点施策に関わる課題、社会情勢等を考慮し、外部評価の必要性が高いと思われる課題を抽出し、外部評価アドバイザーの意見を聴取。

(2) 2次評価

外部評価アドバイザーの意見を参考に2次評価案(最終案)を作成し、科学技術調整会議で最終的に決定。

- ① 科学技術調整会議（令和5年3月27日書面開催）

3 評価項目

(1) 事前評価

研究ニーズ、計画、目的の妥当性や施策目標との関連性

(2) 中間評価

進捗状況、研究を取り巻く内外の状況変化、成果の見通し

(3) 事後評価

当初計画との相違、目的の達成度、成果の活用

4 評価指標

事前評価、中間評価、事後評価ともA、B、C、Dの4段階評価。

5 令和4年度外部評価アドバイザー

所 属	職 名	氏 名
国立大学法人福島大学	教授	佐藤 理夫
公立大学法人宮城大学	教授	金内 誠
国立大学法人福島大学	教授	金子 信博
国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究センター海洋環境部	部長	栗田 豊
国立保健医療科学院	上席主任研究官	吉富 真理
国立大学法人東京大学	教授	飯本 武志
国立大学法人筑波大学 アイソトープ環境動態研究センター	センター長	恩田 裕一